

会 議	弥栄分校閉校記念碑建立プロジェクト会議	代 表	野木三司100周年実行委員長
-----	---------------------	-----	----------------

(1) 概要

議 題	今田石材店のプレゼン、碑文の検討、京都府への寄付行為、募金のお願い文について
日 時	2021(令和3)年7月30日 19:30~21:00
場 所	100周年事務局
出席者	野木、平井(元校長)、味田、松本、今田 近江先生、行待先生、今田石材店より

(2) 会議内容

<p>1 今田石材店からの提案、その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙のとおり図面、写真に基づいて具体的な記念碑案の提案を受けた。 ・費用は金80万円(税別)。 ・図面等から受けるイメージとして、「大きい」という印象(土台から石板上部まで約170cm。土台の幅約190cm)。校舎内の既存のモニュメントや庭園等との調和を図る必要がある。 ・記念碑の内容が確定してから完成するまでに、1か月を要する。 ・設置工事には4日程度を要する。工事中は騒音が発生するので、授業への影響をなくするため、冬休み期間中に行うものとする。 <p>2 碑文について</p> <p>近江先生から「ここ奈具の地に 心を耕し 心を紡ぐ」という碑文案の提案があった。弥栄分校の校舎の地名たる「奈具」又は「奈具丘」を入れたい、また、農園芸科(旧農業科)、家政科(旧家庭科)の取組を表す言葉を入れたい、と言う思いから考えられたものである。</p> <p>この案について、「ここ奈具の地に」を「ここ奈具丘に」変更した方が良いという意見があり、又「紡ぐ」が家政科を表す表現としてしっくりこないという意見もあり、書体も含め、近江先生がさらに検討することとなった。</p> <p>3 府に対する寄付行為の事前協議について</p> <p>必要書類の作成等、松下事務長にすべてお任せすることとなった。</p> <p>4 卒業生への募金のお願いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金の依頼者は野木三司実行委員長のみとし、中道校長の名前は削除する。 ・1口の募金額(希望額)は金3,000円とする。 ・期限(払込期限)令和3年9月30日まで。 ・依頼件数(発送件数)は、昭和27年3月卒~平成元年3月卒までの1,171件とする。 なお、発送可能件数は約2,000件あるが、費用対効果を考慮し、絞り込んだ結果である。 ・依頼文の内容は協議の結果、別紙のとおりである。
--

(3) 協議事項

<p>1 次回会議までにすること</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 碑文案を再検討すること。 (2) 準備が出来次第、卒業生への募金依頼文を発送(1,171件)すること。 (3) 松下事務長に進捗状況の報告をすること。

(4) 備考

<p>次回の会議</p> <p>日時 追って連絡</p> <p>場所 峰高4号館1階 100周年事務局</p> <p>議題 碑文の検討、募金依頼に対する状況報告、その他</p>
